令和8年10月



和歌山県の財政状況

市場公募債ＩＲ資料

和歌山県財政課

Wakayama Prefecture
Finance Division

CONTENTS

１．和歌山県の概要

２．これからの和歌山県

３．和歌山県の財政状況

４．市場公募債発行計画

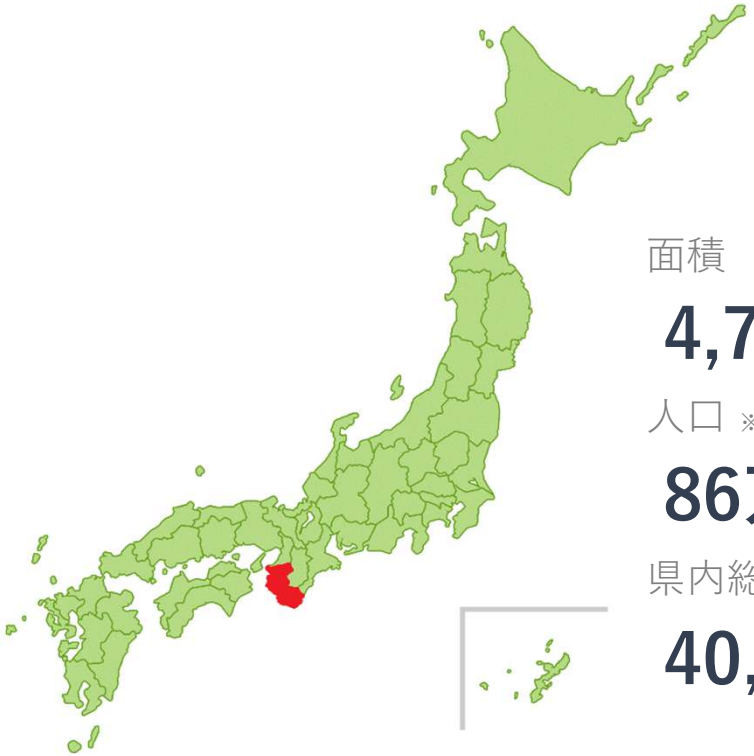


1 和歌山県の概要

和歌山城（和歌山市）
和歌山市の中心にある虎伏山の頂上にそびえ、白亜の三層からなる大天守閣を持つ城。8代将軍吉宗、14代将軍家茂を輩出した紀州藩紀州徳川家の居城で、現在の天守閣は1958年（昭和33年）に再建されました。天守閣からの景色は見晴らしが良く、和歌山市街や周辺の山々、紀伊水道まで360度ぐるりと見渡すことができます。

写真提供：公益社団法人和歌山県観光連盟

和歌山県の概要



面積

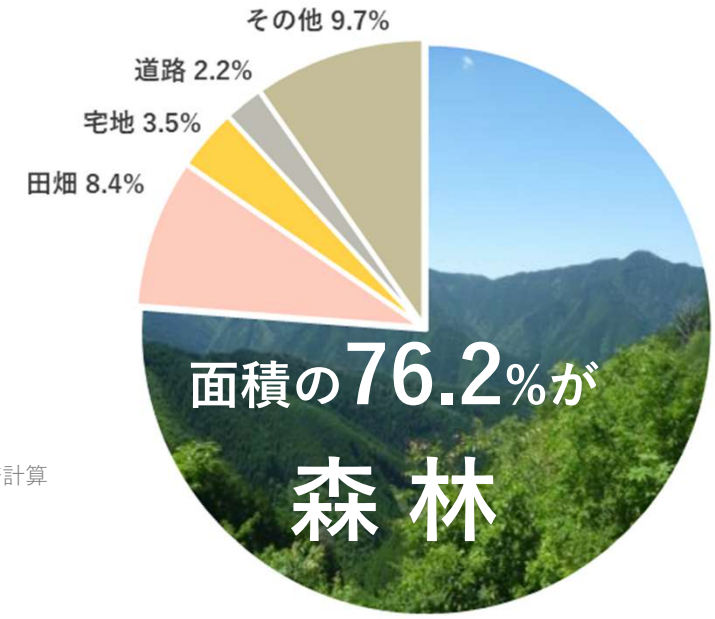
4,725km²

人口 ※R7.10.1現在(令和7年国勢調査)

86万4千人

県内総生産(名目) ※令和５年度県民経済計算

40,107億円



※2020年農林業センサスほか

和歌山県のシンボル



県の花「ウメ」



県の木「ウバメガシ」



県の鳥「メジロ」



県の魚「マグロ」

和歌山県の魅力①～豊富な観光資源～

知らないオドロキが色々色々
聖地リゾート!!!!!
和歌山

- 和歌山県は、恵まれた風土を活かした観光資源が豊富です。
- 自然、文化、食など、それぞれのエリアの特性に応じた魅力があります。



和歌山市近郊エリア

大阪に近い和歌山市は、江戸時代の史跡や日本らしい名勝地を楽しめます。海の幸や和歌山グルメも人気です。



高野山エリア

真言宗の総本山「高野山」エリアは、豊かな自然と荘厳な寺院が共存する厳かな雰囲気が漂います。



有田・日高エリア

県央に位置して、海と山の恵みを受ける風光明媚な土地です。特産品のみかんやクエなどの食も満喫できます。



白浜・串本エリア

関西を代表するマリンリゾートです。レジャーのほかに、太平洋の雄大さを感じる絶景スポットも楽しめます。



熊野エリア

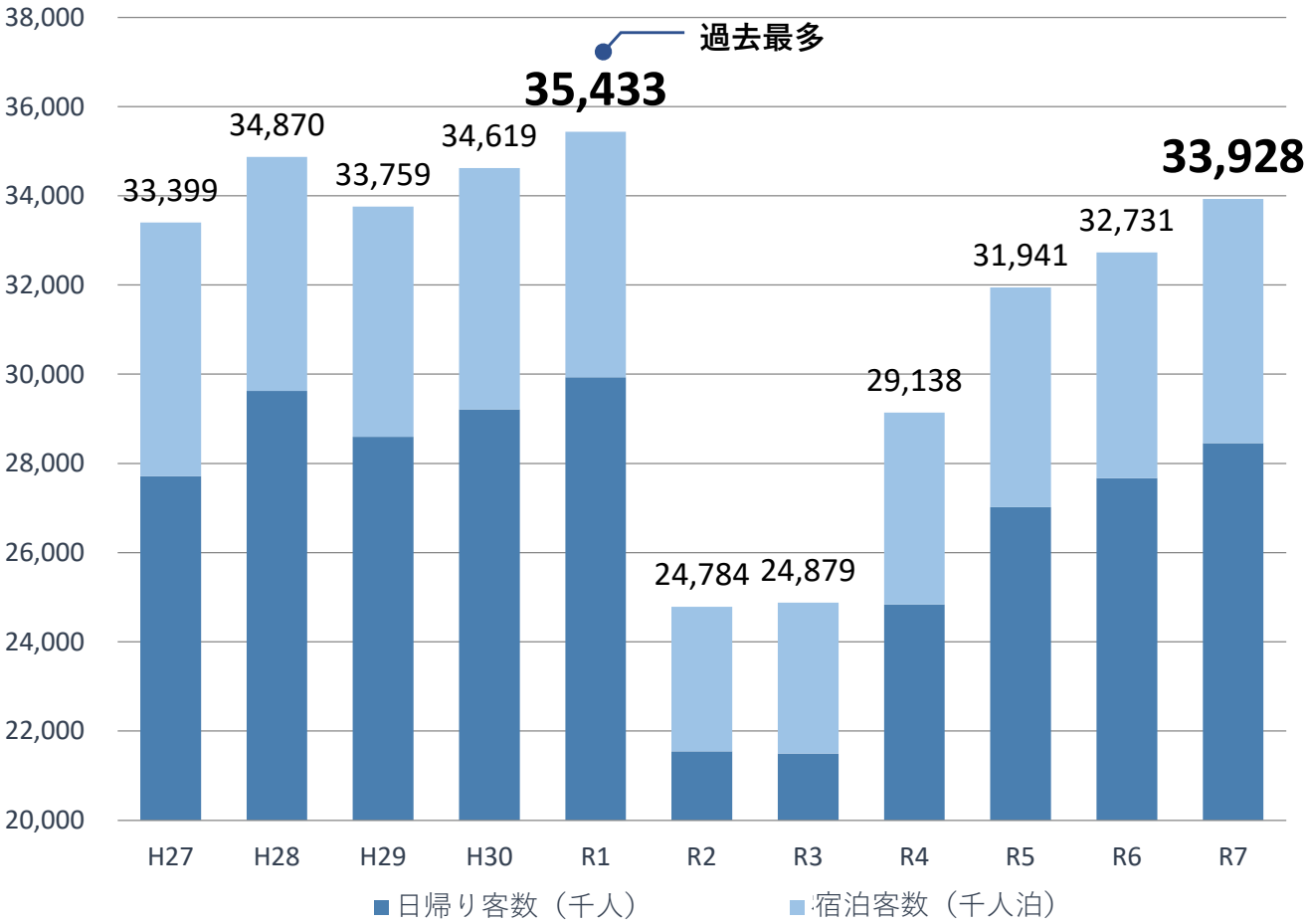
世界遺産「熊野三山」が鎮座する、大自然のパワーあふれる地域です。歴史ある温泉も名物のひとつです。

写真提供：公益社団法人和歌山県観光連盟

和歌山県の魅力①～豊富な観光資源～

聖地リゾート!!!!! 和歌山

- 令和７年は、観光入込客総数・日帰り客数・宿泊客数いずれも**前年より増加**しました。
- 白浜町のジャイアントパンダの返還や物価上昇等減少要因があったものの、**年間を通じてみれば前年比で増加**しました。
- 外国人宿泊客数は**過去最高を更新**しました。



令和７年観光客動態調査

観光入込客総数

約３３,９２８千人

（前年比 １０３.７％）

・日帰り客数

約２８,４５６千人

（前年比 １０２.９％）

・宿泊客数

約５,４７２千人泊

（前年比 １０８.１％）

うち外国人宿泊客数

約７１４千人泊

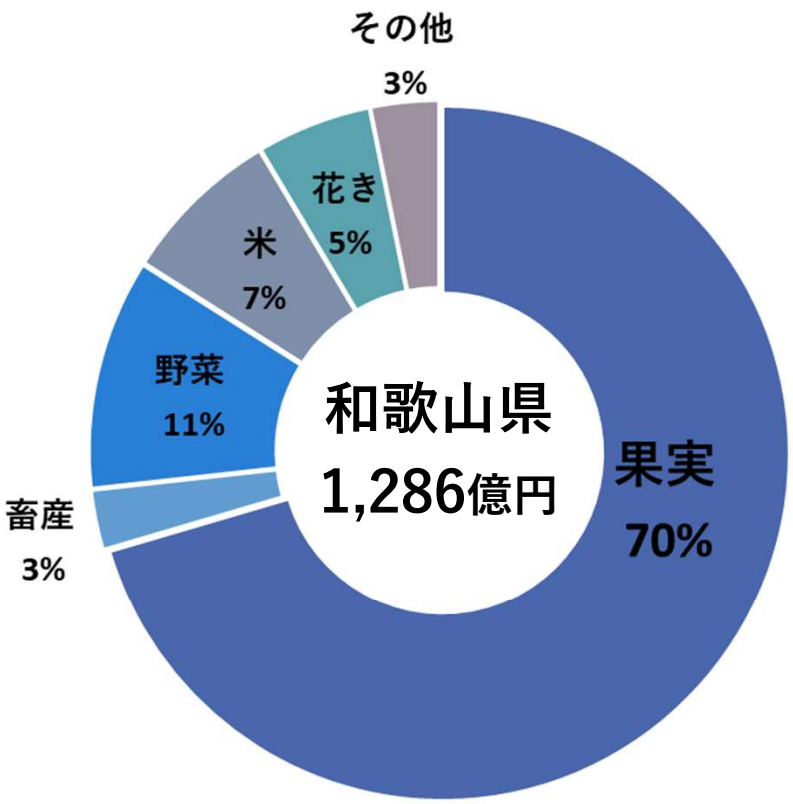
（前年比 １４０.０％）

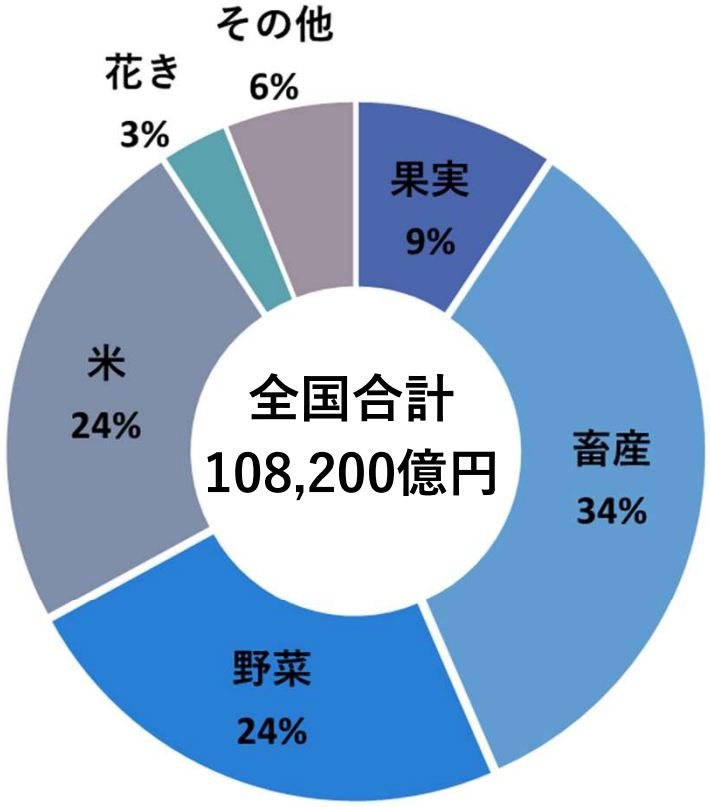
和歌山県の魅力②～果樹王国わかやま～

知らないオドロキが色々色々
聖地リゾート!!!!!
和歌山

- 本県では、恵まれた自然条件を活かした農林水産業が盛んです。
- 農業においては、**果実の構成比が農業産出額の約７割を占めて**おり、全国に比べて特異な構成となっています。
- このため、**和歌山県は「果樹王国」とも言われています。**

農業産出額





※令和6年生産農業所得統計
※各構成比は、端数処理の関係上、合計が100%とならない場合があります。

和歌山県の魅力②～果樹王国わかやま～

知らないオドロキが色々色々
聖地リゾート!!!!!
和歌山

果実収穫量の全国シェア　以下は全て**全国第１位**



25.3%(141,700ｔ)
※ 令和６年産作物統計



74.4%(17,446ｔ)
※令和５年産特産果樹生産動態等調査



57.6%(29,700ｔ)
※令和６年産作物統計



66.7%(308ｔ)
※令和５年産特産果樹生産動態等調査



19.2%(32,100ｔ)
※令和６年産作物統計



18.3%(1,692ｔ)
※令和５年産特産果樹生産動態等調査



2 これからの和歌山県

白崎海洋公園（由良町）
海面に突出した白亜の巨大な石灰岩の岬と、紺碧の海のコントラストが特異な景観を呈しています。「日本のエーゲ海」とも称される海岸で、人間が地球に誕生するさらに昔、約2億5000万年前にできたものだと言われています。

写真提供：公益社団法人和歌山県観光連盟

和歌山県総合計画の策定

■ 本県は、2025（令和7）年12月、県政の新たな指針となる和歌山県総合計画を策定しました。

■ 2040年を展望した「長期構想」と、５年間で行う「実施計画」の二層構造の計画とし、本県が掲げる将来像をを実現するため、６つの柱を軸に政策を展開していきます。

2040年に実現したい和歌山の将来像

- 人口減少や気候変動に適応した、持続可能で心豊かな和歌山
- 個人が尊重され、あらゆる分野で個性輝く和歌山



〈 政策の６つの柱 〉

５つの社会の潮流（大きな変化・リスク）

1 人口減少・超高齢化

2 地球温暖化

3 デジタル活用の加速化

4 共生社会の進展

5 行政間や官民の連携

1 海外の活力を取り込む

2 人への投資を強化する

3 産業の創造力と生産性を高める

4 つながりを拡げて、暮らしを守る

5 誰にも居場所がある社会をつくる

6 安全な社会基盤を築き、さまざまな脅威から命を守る

取組事例のご紹介① ～海外の活力を取り込む～

■ 「グローバル人材育成」のため、留学支援制度の創設や友好提携先との交流を通して国際交流を活性化を図ります。
■ 「外国人材が活躍する和歌山」をめざし、外国人材の受入れ拡大に向けた取組を本格的に始動します。
■ 「国際化を踏まえた産業の振興」に向け、空飛ぶクルマの県内での実用化に向けた取組に着手します。

グローバル人材の育成

わかやま海外留学応援プログラム

産学官の協働で高校生の留学（現地活動費、留学準備費等）を支援

外国人材の活躍推進

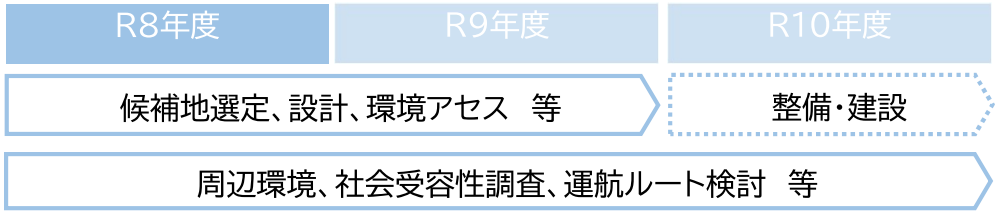
外国人材受入促進

産業別の事業者向けセミナーや、国内外ジョブフェアへの出展、海外インターンシップを通したマッチング支援など、外国人材の受入れを促進するための事業を総合的に展開

国際化を踏まえた産業の振興

空飛ぶクルマ実用化支援

離発着拠点として有望な地域における、関連事業者による調査等を支援



取組事例のご紹介② ～人への投資を強化する～

■ 「こどもを産み育てやすい環境を整備」するため、妊娠から子育て期の負担支援策の充実を図ります。
■ 「学習者主体の教育への転換」に向け、学校の魅力化・特色化を実現する環境整備を強化します。

こどもを産み育てやすい環境整備

学校給食無償化

学校給食を実施する市町村立小中学校

県立特別支援学校に通学する世帯



こども誰でも通園制度

市町村が実施する保護者の就労要件を問わず利用できる通園制度の経費を一部支援

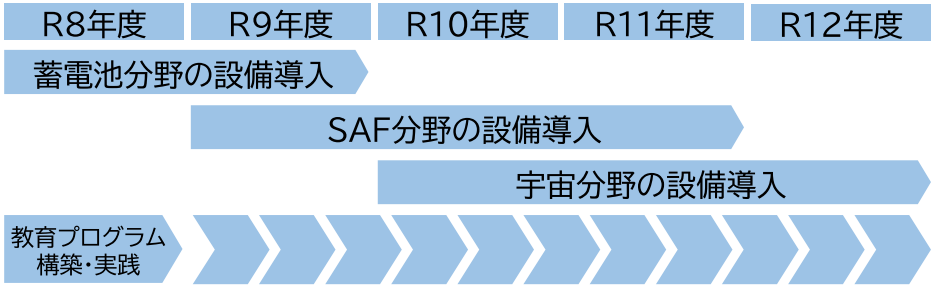
生後6か月から満３歳未満の未就園児を対象

学習者主体の教育への転換

成長産業を支える人材育成

工業系高等学校において、関連企業と連携した教育プログラムを構築・実践

産業教育設備を拠点となる高等学校に段階的に導入



取組事例のご紹介③ ～産業の創造力と生産性を高める～

- 日本初の民間小型ロケット発射場「スペースポート紀伊」から、「カイロスロケット」の打上げへの挑戦が続いています。今後、宇宙産業では大きな経済波及効果が見込まれています。
- 宇宙産業の振興を図るため、ビジネス創出支援、人材育成、情報発信を実施しています。

『日本初』民間小型ロケット発射場の概要

事業内容：超小型衛星の「宇宙宅配便」事業

事 業 者：スペースワン(株) ※

事 業 地：和歌山県串本町

※主な株主：キヤノン電子(株)、(株)IHIエアロスペース、清水建設(株)、
(株)日本政策投資銀行

発射場立地の経済波及効果は、

10年間で670億円







写真出典：スペースポート紀伊周辺地域協議会事務局資料

取組事例のご紹介④ ～つながりを拡げて、暮らしを守る～

■ 「人口減少に適応した地域運営」を進めるため、市町村域を越えた公共サービスの構築や、地域の実情に応じた持続可能な医療・介護体制の構築に本格的に着手します。

ドクターヘリ機体購入

県民が安心できる救急医療体制を堅持するため、ドクターヘリの安定運航に向け、県で機体を整備　【R11運航開始予定】



看護職員確保対策の推進

県内の各地域に、コーディネーターを配置するとともに、関係者のネットワークを構築し、地域ごとに課題の検討や看護人材のマッチングを推進

DX技術活用水道管広域漏水調査

市町村域を越えて共同実施する、デジタル技術を活用した漏水調査を支援



取組事例のご紹介⑤ ～誰にでも居場所がある社会をつくる～

■ 「こどもまんなか・女性活躍の環境づくり」に引き続き取り組みます。

■ 人口減少への適応や地域の魅力向上など、現状を前提としない多角的な観点から、「時代に即したスポーツ・文化芸術活動の環境整備」を進めます。

こども支援食堂

こども食堂の開設等支援

新規開設の設備導入費

学習支援等の備品購入費

こども食堂応援ネットワーク

開設や運営に関する支援、食材寄付等のマッチングなど、こども食堂の運営者に対する支援

県内こども食堂設置数

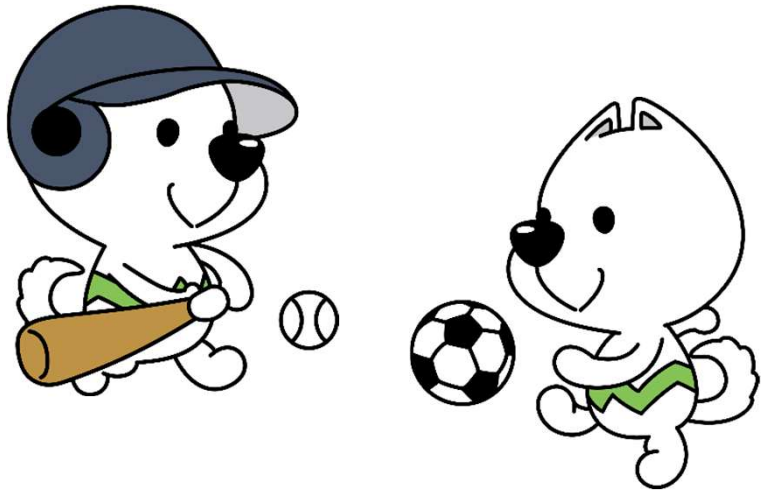
R６：103か所 ⇒ R8：167か所

（R8.8月末時点）

時代に即したスポーツ・文化芸術活動の環境整備

部活動の地域展開準備

指導者・地域クラブとのマッチングや課題整理等を担うアドバイザーを配置する市町村を支援



取組事例のご紹介⑤ ～道路ネットワークの整備～

■ 国内外の活発な人流・物流を地域に呼び込むため、また、半島防災の観点から南海トラフ地震等の大規模災害に備えるため、道路ネットワークの整備を推進しています。

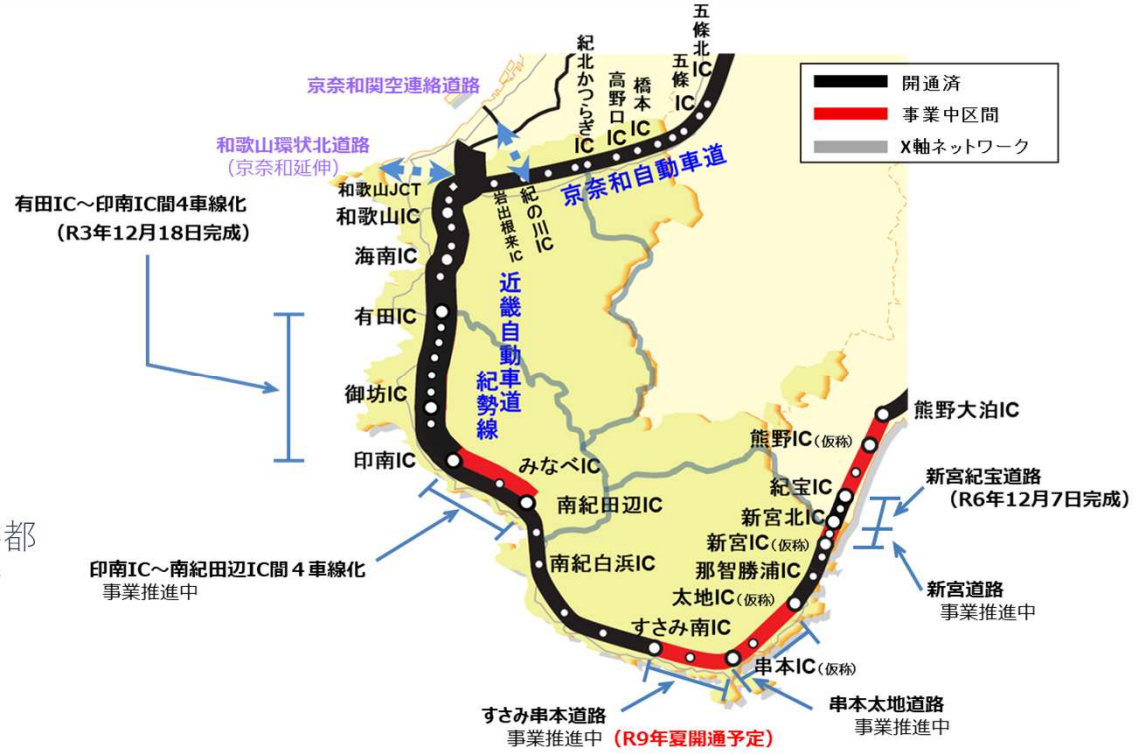
地域をつなぐ道路網の整備

高速道路ネットワーク等の整備促進

- ▶すさみ串本道路、串本太地道路、新宮道路の整備
- ▶印南IC～南紀田辺IC間の４車線化
- ▶和歌山環状北道路、京奈和関空連絡道路の早期事業化

幹線道路網等の整備推進

- ▶ 高速道路の整備効果が県内全域に波及するよう、県内主要都市間をつなぐ道路ネットワーク強化など幹線道路網を整備
- ▶ 都市内道路及び基本的生活に不可欠な道路を整備



災害に備えた道路網の強靭化

緊急輸送道路等の防災・減災対策の推進

▶南海トラフ地震など災害時における避難・救助や物資供給等の応急活動を支える橋梁耐震化や法面対策、無電柱化を実施

橋梁等の老朽化対策

▶平常時はもとより災害時にも本来の機能が発揮できるよう対策を推進



落橋防止の設置



コンクリートの剥離（橋脚）の補修

令和8年度当初予算(案)について

新総合計画で掲げる「めざす将来像」への確かな道筋をつける予算

【一般会計当初予算額】 **6,499億円**(対前年度＋360億円)

2040年に実現したい和歌山の将来像

人口減少や気候変動に適応した、持続可能で心豊かな和歌山
個人が尊重され、あらゆる分野で個性輝く和歌山

こどもまんなか社会の実現
未来を創るこどもを育み、学びを支える

次世代型産業構造への転換
和歌山の特性を活かした力強い経済を創る

人口減少に適応した社会システムの構築
少ない人口でも持続可能で豊かな社会を創る

＋

緊急的な物価高騰対策



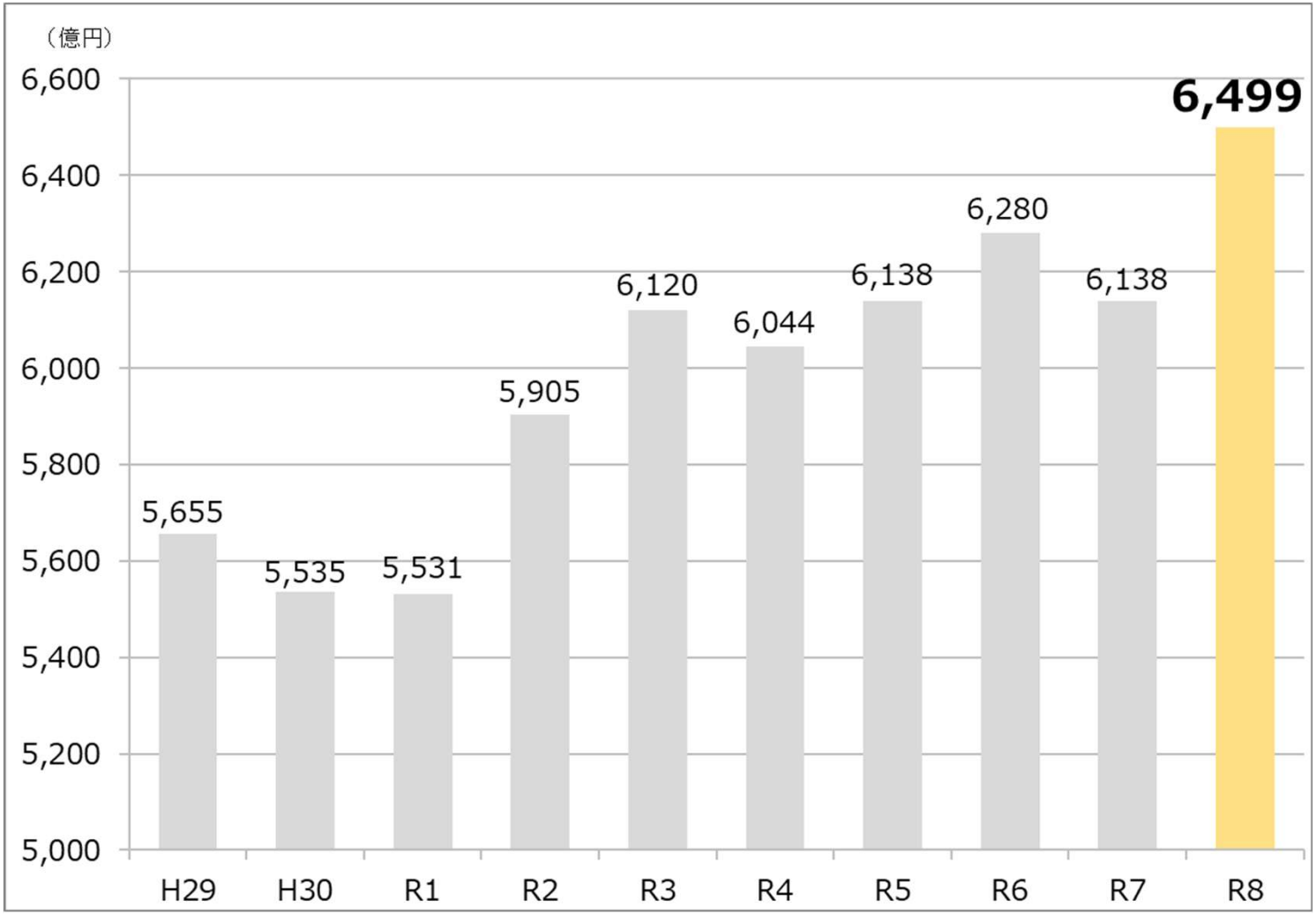
3 和歌山県の財政状況

　那智の滝（那智勝浦町）
熊野那智大社の別宮である飛瀧神社の御神体として崇められている那智の滝。「一の瀧」とも呼ばれ、上流にある「二の瀧」「三の瀧」と合わせて「那智大滝」と総称されます。この滝は国の名勝に指定されており、日本三名瀑の一つでもあります。落差133mの滝の流れは迫力があり、毎秒約1トンの水量が落下しています。那智山の奥山、大雲取山から流れ落ちる水しぶきが周囲を白く彩り、壮大な景色を生み出します。

写真提供：公益社団法人和歌山県観光連盟

令和８年度当初予算の概要

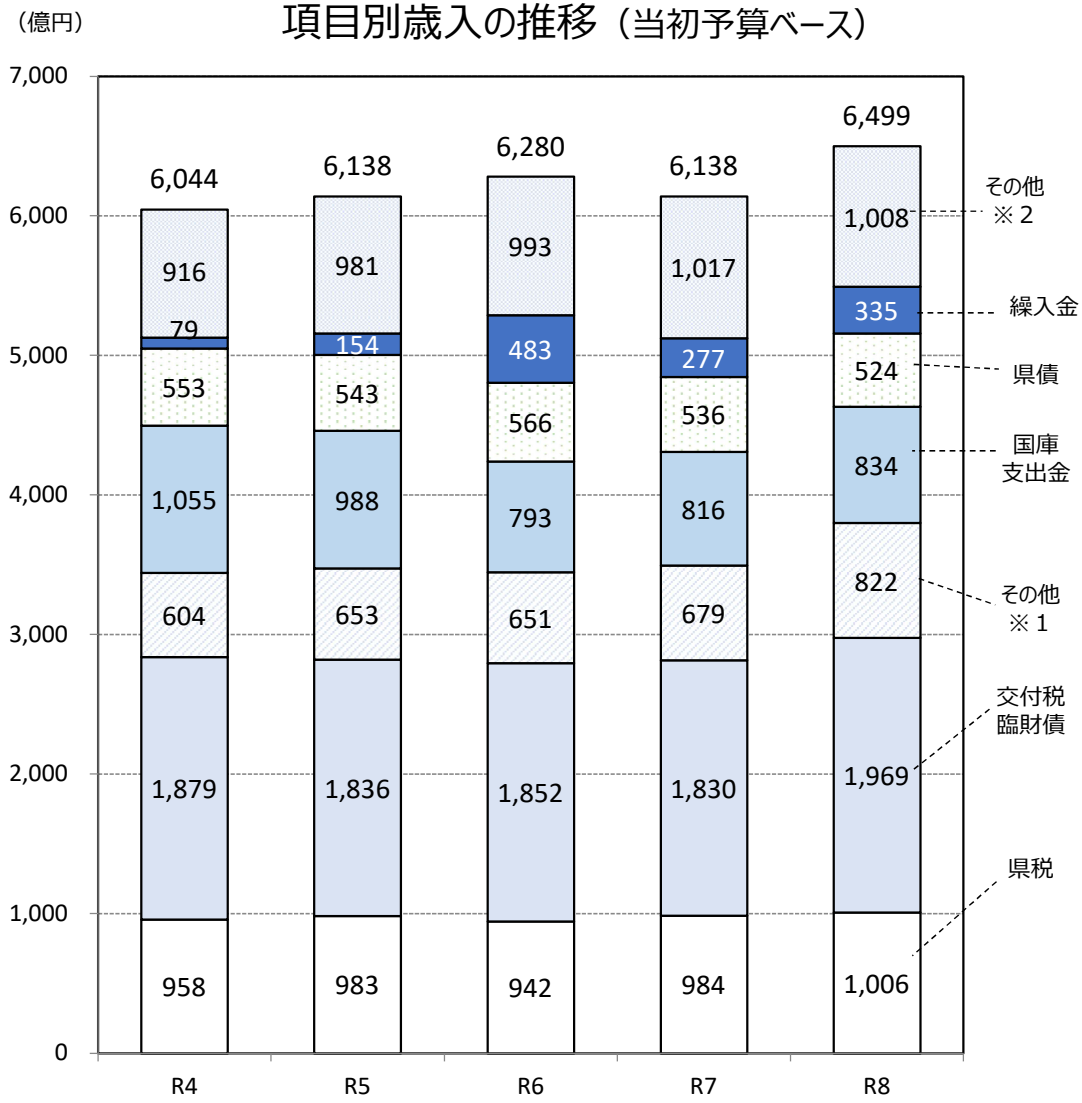
■ 令和８年度の一般会計当初予算の規模は、6,499億円（対前年度+360億円、+5.9%）となり、当初予算としては過去最大規模となりました。



令和８年度当初予算（歳入）の概要

■ 一般財源は県税の増加等により、昨年度を上回る額を見込んでいます。

		R７当初	R８当初	増減額	増減率
一般財源	県税	984億円	**1,006億円**	22億円	2.3%
	地方交付税	1,830億円	**1,969億円**	139億円	7.6%
	臨時財政対策債	-	**-**	-	-
	その他　（※１）	679億円	**822億円**	144億円	21.2%
	小　計	3,493億円	**3,798億円**	305億円	8.7%
国庫支出金		816億円	**834億円**	18億円	2.2%
県債		536億円	**524億円**	▲ 12億円	▲ 2.2%
繰入金		277億円	**335億円**	59億円	21.2%
その他　（※２）		1,017億円	**1,008億円**	▲ 9億円	▲ 0.9%
歳入合計		6,138億円	**6,499億円**	360億円	5.9%



※１　地方消費税清算金、地方譲与税、地方特例交付金

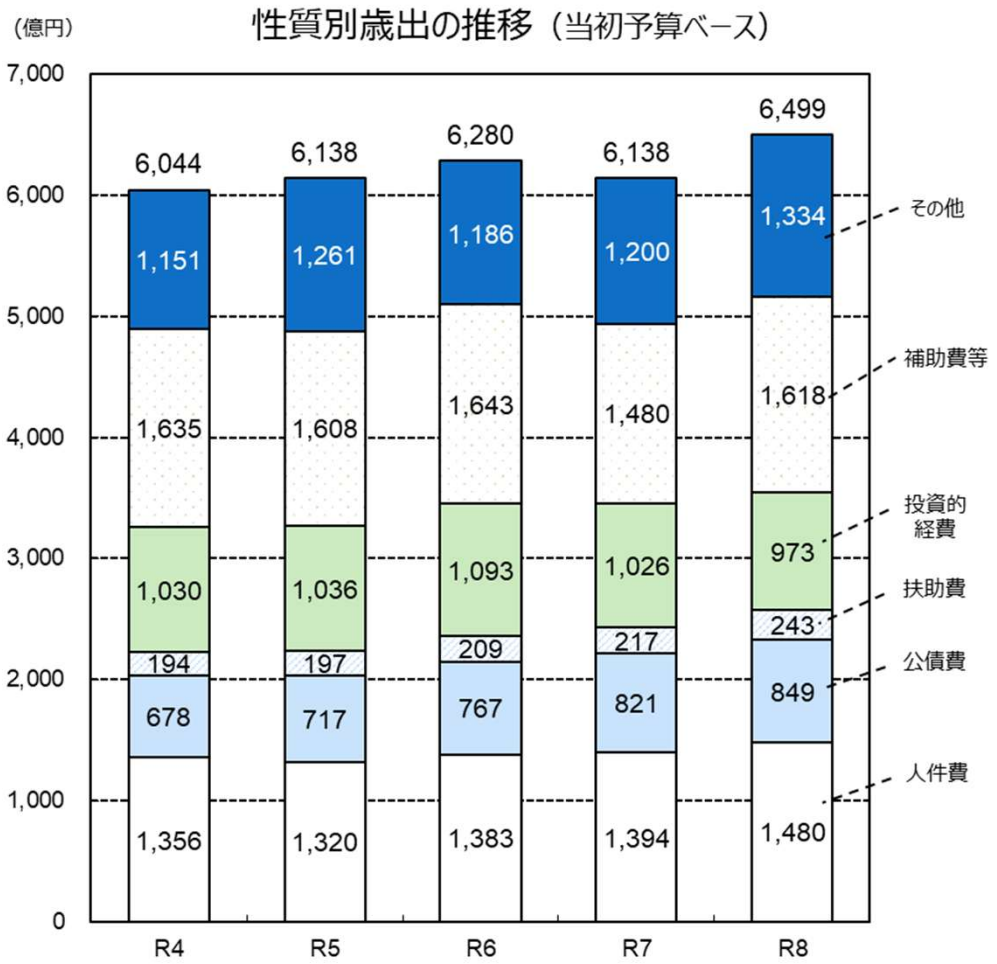
※２　交通安全対策特別交付金、分担金及び負担金、使用料及び手数料、諸収入等

令和８年度当初予算（歳出）の概要

■ 物価、金利、賃金の上昇等により、人件費や公債費、社会保障関係経費が大きく増加しました。

■ 過去最大の歳出規模となる中、交付金や基金の活用等により、県政推進に必要な予算を確保しました。

		R７当初	**R8当初**	増減額	増減率
義務的経費	人件費	1,394億円	**1,480億円**	86億円	6.2%
	公債費	821億円	**849億円**	29億円	3.5%
	扶助費	217億円	**243億円**	26億円	12.1%
	小　計	2,431億円	**2,573億円**	141億円	5.8%
投資的経費		1,026億円	**973億円**	▲ 53億円	▲ 5.1%
補助費等		1,480億円	**1,618億円**	138億円	9.3%
その他 ※		1,200億円	**1,334億円**	134億円	11.2%
歳出合計		6,138億円	**6,499億円**	360億円	5.9%



※　維持補修費、積立金、貸付金、繰出金等

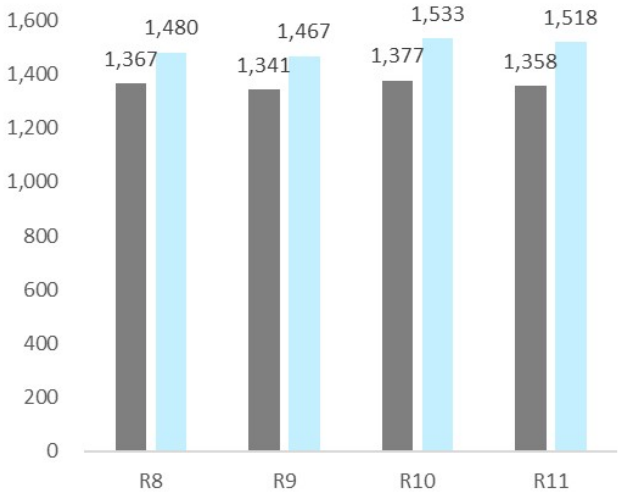
財政収支見通し（令和８～11年度）

■ 今後、義務的経費である人件費、公債費及び社会保障関係経費について、大幅な増加が見込まれています。
■ 財調・減債基金の令和８年度末残高は、財政危機警報時の想定を上回る見込みであるものの、物価・金利・賃金の想定が上振れたこと等により、令和９年度以降は悪化する見通しです。

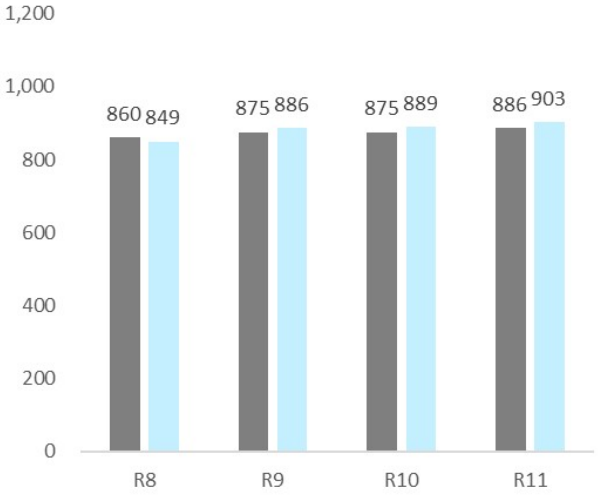
各経費の推移（見込み）

（単位：億円）

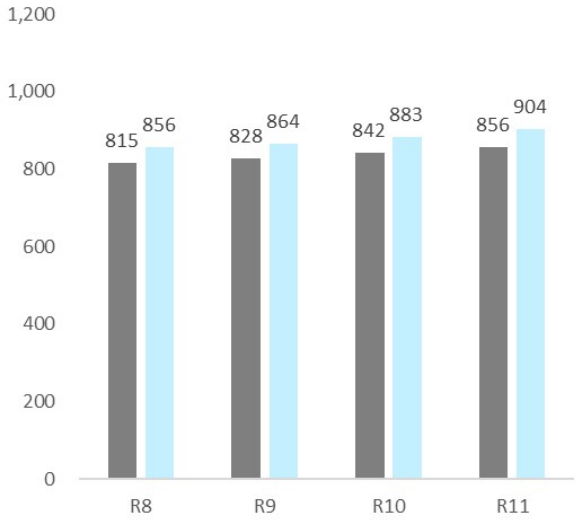
人件費



公債費



社会保障関係費



危機警報時の見通し（R5.2月時点）
最新の見通し（R8.2月時点）

財政収支見通し（令和8～17年度）

知らないオドロキが色々色々
聖地リゾート!!!!!
和歌山

（単位：億円）

	令和８年度 当初予算（案）	令和９年度 見　込　額	令和１０年度 見　込　額	令和１１年度 見　込　額	令和１２年度 見　込　額	令和１３年度 見　込　額	令和１４年度 見　込　額	令和１５年度 見　込　額	令和１６年度 見　込　額	令和１７年度 見　込　額
歳　　出　　（A）	6,499	6,601	6,605	6,596	6,613	6,742	6,849	6,891	6,938	6,995
人　件　費	1,480	1,467	1,533	1,518	1,580	1,566	1,636	1,649	1,668	1,693
公　債　費	849	886	889	903	912	924	942	930	916	903
投資的経費	973	1,125	1,053	1,032	949	1,027	1,027	1,027	1,027	1,027
社会保障関係経費	856	864	883	904	925	947	970	994	1,019	1,046
その他支出	2,339	2,258	2,246	2,240	2,247	2,279	2,275	2,292	2,309	2,327
歳　　入　　（B）	6,216	6,272	6,305	6,275	6,275	6,403	6,483	6,531	6,584	6,642
県　　税	1,006	1,026	1,040	1,055	1,071	1,086	1,102	1,117	1,132	1,147
地方交付税	1,969	1,922	1,972	1,996	2,000	2,022	2,035	2,057	2,064	2,075
国庫支出金	834	802	796	804	803	812	818	821	826	831
県　　債　（行革債を除く）	481	604	561	477	422	505	505	505	505	505
その他収入	1,926	1,918	1,935	1,942	1,979	1,978	2,024	2,030	2,057	2,084
差し引き（収支改善対策前） （B）-（A）	▲ 283	▲ 329	▲ 300	▲ 321	▲ 338	▲ 339	▲ 366	▲ 360	▲ 355	▲ 353
最終収支不足額	▲ 125	▲ 163	▲ 205	▲ 235	▲ 265	▲ 268	▲ 308	▲ 302	▲ 297	▲ 295
前年度の財調基金積立て による収支改善効果額	-	71	72	72	72	73	74	76	76	77
財調及び県債管理基金 年度末残高（見込）	110	18	▲ 115	▲ 277	▲ 470	▲ 666	▲ 899	▲ 1,126	▲ 1,346	▲ 1,563

【参考1】令和７年度当初予算発表時の財調及び県債管理基金年度末残高の見通し

財調及び県債管理基金 年度末残高（見込）	83	▲ 20	▲ 152	▲ 297	▲ 462	▲ 644	▲ 852	▲ 1,067	▲ 1,264

【参考2】財政危機警報発出時（令和５年２月）の財調及び県債管理基金年度末残高の見通し

財調及び県債管理基金 年度末残高（見込）	103	45	▲ 8	▲ 68	▲ 131	▲ 198	▲ 286

普通会計決算の状況

知らないオドロキが色々色々
聖地リゾート!!!!!
和歌山

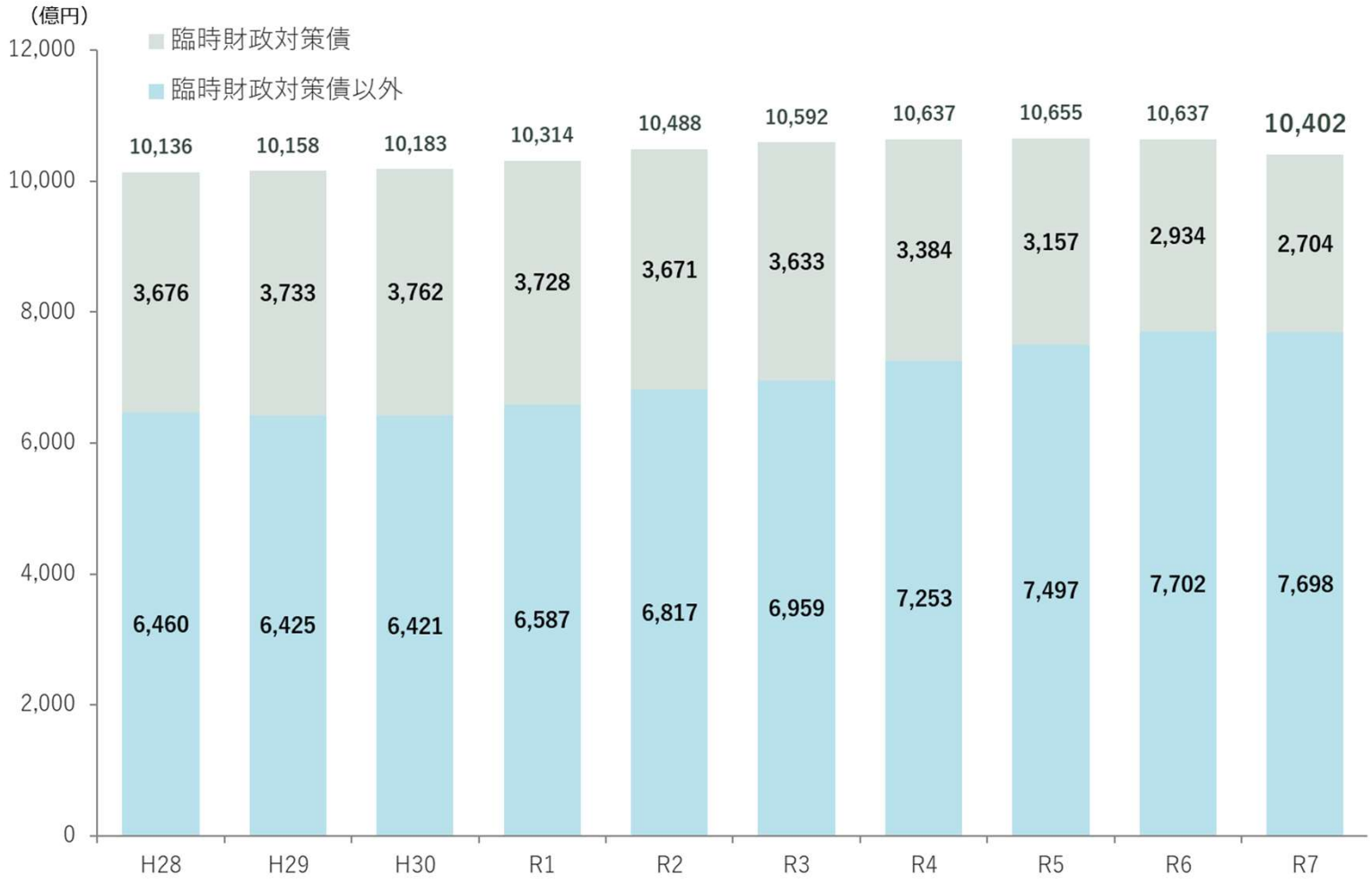
- 歳入歳出決算ともに、概ね6,000億円程度で推移しています。
- 健全化判断比率もすべての指標で国の基準を下回り、適切に財政運営をしています。

項目	R2決算	R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R7決算	対前年度増減
収　支（億円）							
歳入総額	6,484	6,734	6,629	6,363	6,620	**6,351**	▲ 269
歳出総額	6,267	6,436	6,372	6,081	6,440	**6,167**	▲ 273
歳入歳出差引	217	298	257	282	180	**184**	+4
翌年度への繰越財源	78	184	75	97	83	**91**	+9
実質収支	139	114	181	185	97	**92**	▲ 5
実質単年度収支	102	108	83	54	▲ 39	**▲ 56**	▲ 17
残　高（億円）							
県債残高【一般会計】	10,488	10,587	10,622	10,625	10,586	**10,326**	▲ 260
うち、臨時財政対策債	3,671	3,628	3,369	3,130	2,894	**2,651**	▲ 243
うち、臨時財政対策債除き	6,817	6,959	7,253	7,494	7,692	**7,675**	▲ 17
基金残高	671	725	892	994	825	**727**	▲ 98
うち、財政調整・減債基金	209	209	224	306	450	**378**	▲ 72
指　標							
標準財政規模(億円)	2,987	3,139	3,056	3,064	3,102	**3,164**	+62
財政力指数	0.338	0.323	0.318	0.315	0.329	**0.334**	0.005
経常収支比率（%）	95.2	86.9	93.0	93.0	94.4	**98.6**	0.0
健全化判断比率（%）							
実質赤字比率	—	—	—	—	—	—	—
連結実質赤字比率	—	—	—	—	—	—	—
実質公債費比率	7.6	7.7	8.4	9.5	10.8	**12.9**	2.1
将来負担比率	204.5	194.6	200.1	202.0	200.3	**196.5**	▲ 3.8

県債残高の推移（一般会計）

■ 一般会計における臨時財政対策債を除く県債残高は、令和７年度末で7,698億円となっています。

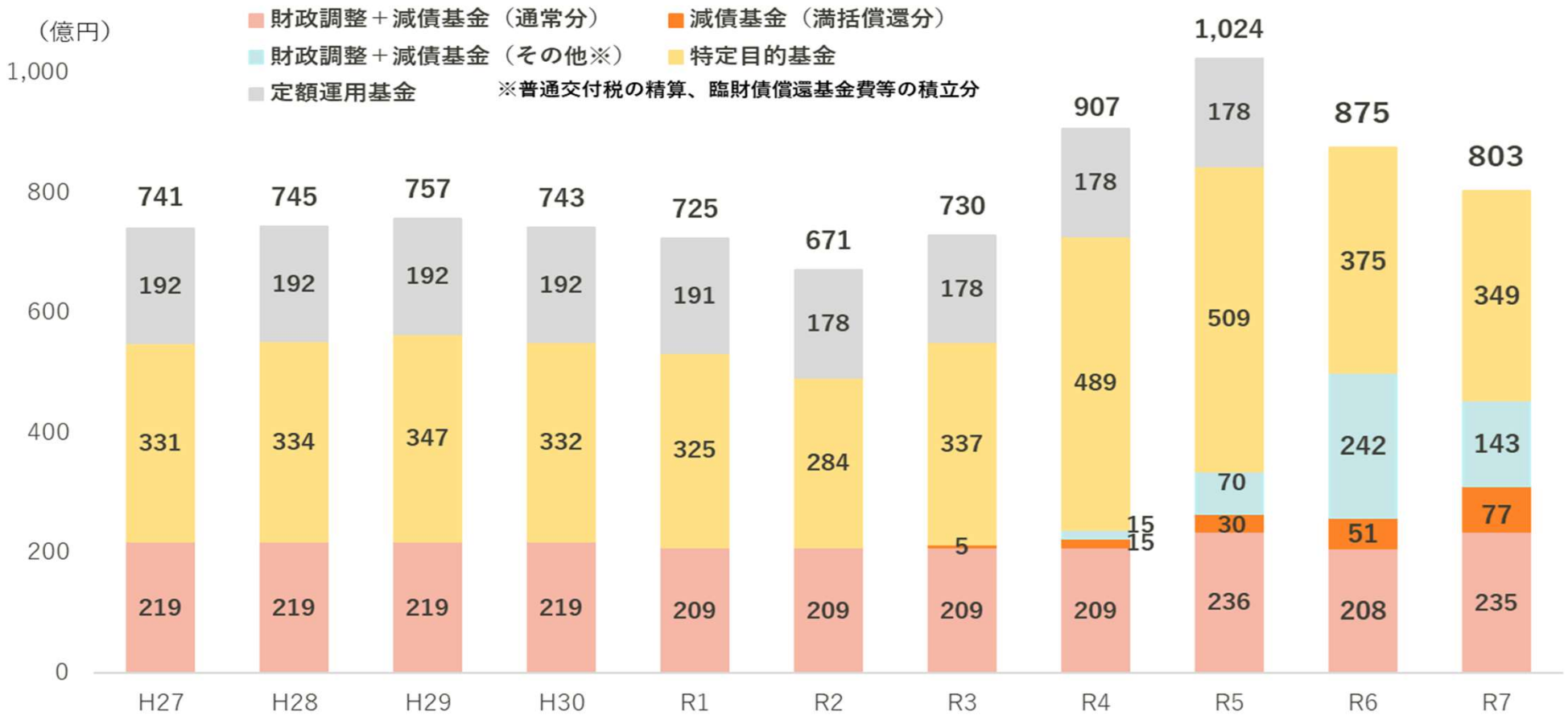
■ 新規発行額の減少や令和７年度に実施した借換抑制効果により、前年度と比べて約4億円減少しています。



基金残高の推移

■ 財政調整基金と減債基金（通常分）の残高合計は、令和７年度決算において235億円を確保しています。

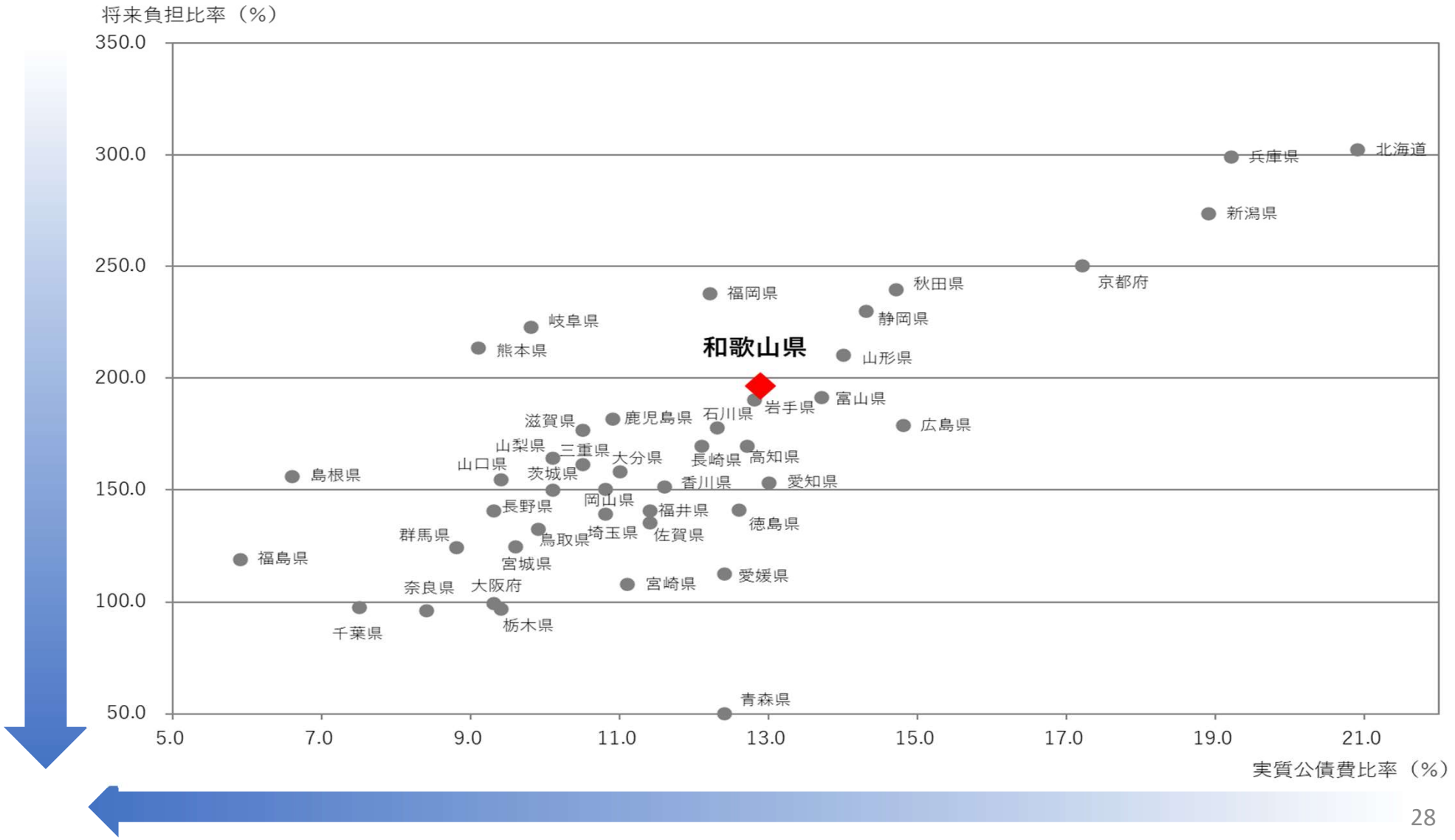
■ 市場公募地方債の満期一括償還分については、通常分とは別枠で発行翌年度から毎年度20分の１ずつ積み立てています。



令和７年度健全化判断比率（速報値）の状況

■ 令和７年度の実質公債費比率は12.9%（全国37位）、将来負担比率は196.5%（全国37位）となりました。

■ いずれも財政健全化計画の策定が義務付けられる早期健全化基準を下回っています。



令和７年度公営企業会計（法適用）の決算概要

■　健全化法上の資金不足比率について、資金不足は発生していません。

（百万円）

	概要	収益的収支			資本的収支			資金不足比率（健全化法）
		事業収益	事業費用	収支差引	資本収入	資本費用	収支差引（※）	
病院	精神保健福祉法第19条の7に基づき、県立こころの医療センターを設置、運営 ・R7年度年延べ入院患者数：43,429人 年延べ外来患者数：25,921人	2,159	2,142	16	535	556	▲ 21	ー
工業用水道	紀の川及び有田川を水源として利用し、和歌山市、海南市及び有田市の事業者へ工業用水を供給 ・R7年度年間給水量：32,760千㎥	846	590	257	282	3,070	▲ 2,788	ー
土地造成	企業誘致推進のため、和歌山市（雑賀崎・西浜工業団地）、御坊市（日高港・御坊工業団地）及び橋本市（あやの台北部用地）にある企業用地の分譲を推進	958	713	246	ー	625	▲ 625	ー
流域下水道	紀の川流域の自然環境の保全や生活環境の改善のため、紀の川（伊都処理区）・紀の川中流（那賀処理区）流域において流域下水道事業を実施 ・R7年度年間総処理水量：7,687千㎥	2,505	2,508	▲ 3	997	997	ー	ー

※資本的収支の不足額は内部留保資金等で補てんしています。



4 市場公募債発行計画

奥の院（高野町）

奥の院は、弘法大師空海の御廟がある場所で、壇上伽藍と並ぶ高野山の二大聖地の一つで、高野山の信仰の中心とされています。弘法大師は853年に62歳で入定し、以来1200年にわたってこの地で永遠の瞑想を続けていると信じられています。

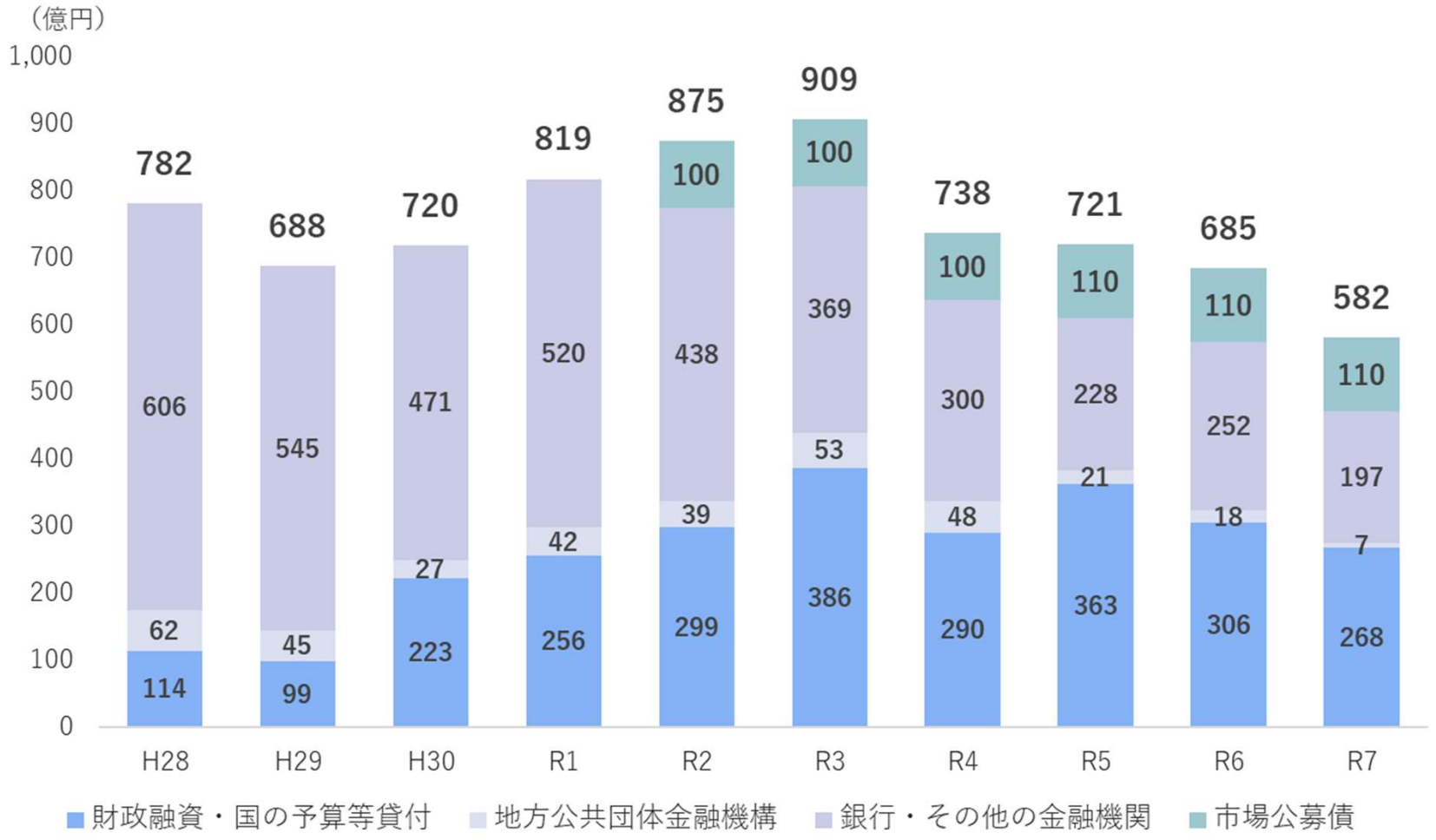
樹齢千年を超える杉木立が生い茂る参道には、皇族や大名、文人、庶民など、さまざまな人々の供養塔や墓石が並んでいます。

写真提供：公益社団法人和歌山県観光連盟

資金調達状況

■ 本県では、令和２年度より全国型市場公募債、令和５年度よりグリーン共同発行市場公募地方債により資金調達を行っています。

資金調達状況の推移　※調達先別、借換債を除く



市場公募債の発行計画

■ 令和８年度は、１００億円の市場公募債を発行する予定です。
■ 来年度以降も、年１回の発行を視野に継続的に発行していく予定です。

発行額 100億円

年限 10年（満期一括償還）

発行日 令和８年11月30日（月）

発行方式 シンジケート団引受方式

令和８年度引受シンジケート団

銀行団	シェア（%）	備考
株式会社紀陽銀行	23.0	**代表幹事**
株式会社みずほ銀行	22.0	**副幹事**
きのくに信用金庫	3.0	
株式会社三井住友銀行	1.0	
株式会社三菱ＵＦＪ銀行	1.0	
銀行団合計	**50.0**	

証券団	シェア（%）	備考
野村證券株式会社	9.0	**証券幹事**
SMBC日興証券株式会社	9.0	
大和証券株式会社	9.0	
みずほ証券株式会社	9.0	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	9.0	
岡三証券株式会社	2.0	
東海東京証券株式会社	2.0	
岩井コスモ証券株式会社	1.0	
証券団合計	**50.0**	

グリーン共同発行市場公募地方債への参加

■ 地方債市場におけるグリーンボンド等のSDGs債（ESG債）への需要の高まりを受け、令和５年度から共同発行方式でグリーンボンドを発行しており、和歌山県もこれに参加しています。
■ 今年度、和歌山県は10億円を発行予定です。

年限	10年（満期一括償還）					
発行額	未定（年度を通じて３回の発行を予定）					
主幹事会社	野村證券株式会社（事務、ストラクチャリング・エージェント）、 大和証券株式会社、みずほ証券株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、しんきん証券株式会社					
参加団体 **（42団体）**	• 北海道 • 岩手県 • 宮城県 • 福島県 • 茨城県 • 栃木県 • 埼玉県 • 千葉県	• 新潟県 • 富山県 • 福井県 • 山梨県 • 長野県 • 岐阜県 • 静岡県 • 京都府	• 大阪府 • 兵庫県 • 奈良県 • **和歌山県** • 島根県 • 岡山県 • 広島県 • 佐賀県	• 長崎県 • 熊本県 • 大分県 • 宮崎県 • 鹿児島県 • 札幌市 • 仙台市 • さいたま市	• 千葉市 • 新潟市 • 静岡市 • 浜松市 • 京都市 • 堺市 • 岡山市 • 広島市	• 北九州市 • 福岡市

資金充当事業例



緊急輸送道路整備･法面対策事業



河川修繕･堤防改修事業

お問い合わせ先

問い合わせ先

和歌山県 総務部 総務管理局 財政課 企画班
〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

電　話　：073-441-2161
E-mail　：e0104001@pref.wakayama.lg.jp



和歌山県ＰＲキャラクター「きいちゃん」

財政・県債に関する情報

和歌山県財政課ホームページ
https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010400/index.html

【ＭＥＭＯ】


和歌山県
Wakayama Prefecture